みやぎの市町村レビュー

石巻市

1．位置・面積

石巻市は、宮城県の北東部に位置し、仙台市からの距離は60km程度、面積は555.64km²（県内36市町村中4位：合併した自治体の計数は旧市町村の合計値、以下同じ。）となっています。

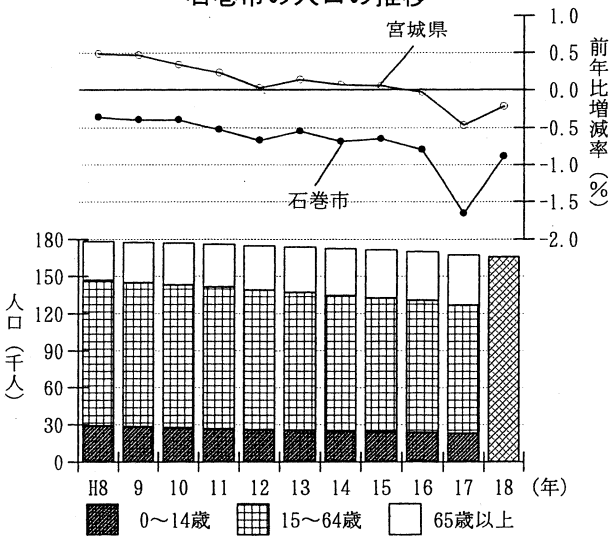
2．人口動向

石巻市の人口（平成18年）は、165,838人であり、県内36市町村中2位となっています。

平成8年以降の人口の推移をみると、減少傾向で推移しています。

また、平成17年（167,311人）における年齢階層別人口（年齢不詳を除く）をみると、年少人口（0～14歳）が22,851人（構成比：13.6%）、生産年齢人口（15～64歳）が104,025人（同62.2%）、老年人口（65歳以上）が40,435人（同24.2%）となっています。

石巻市の人口の推移



注）各年10月1日現在。
資料：総務省「国勢調査報告」、宮城県「宮城県推計人口」

3．産業構造

石巻市の市内総生産額（平成16年度）は5,311億円であり、県内36市町村中2位となっています。

石巻市の市内総生産額を産業別にみると、製造業が999億円と最も多く、次いでサービス業（941億円）、不動産業（677億円）などとなっています。

また、産業別生産額の構成比を宮城県と比べてみると、水産業（2.9%）や製造業（18.8%）のウェイトが高い一方、卸売・小売業（10.9%）やサービス業（17.7%）のウェイトが低い状況となっています。

石巻市の産業別市内総生産額（平成16年度）

	実額（億円）		構成比（%）	
	石巻市	宮城県	石巻市	宮城県
農業	92	1,095	1.7	1.3
水産業	156	531	2.9	0.6
製造業	999	13,059	18.8	15.5
建設業	400	4,808	7.5	5.7
卸売・小売業	578	12,612	10.9	14.9
金融・保険業	256	3,764	4.8	4.5
不動産業	677	11,968	12.7	14.2
運輸・通信業	579	8,124	10.9	9.6
サービス業	941	17,734	17.7	21.0
公務・その他	633	10,712	12.1	12.7
合計	5,311	84,407	100.0	100.0

資料：宮城県「宮城県市町村民経済計算」

4．市町村民力

石巻市の民力(平成18年)をみると、経済社会活動の総合力を表す基本指数は722となり、県内36市町村中2位となっています。一方、成長性を表す同増加指数(9,610)は世帯数や従業者数の減少などを映じて28位となっています。

また、総合的な産業力を表す産業活動指数(797)は2位となっています。一方、同増加指数(9,874)は、漁業生産量などが増加したものの、新設住宅着工戸数やサービス業事業所数などが減少したことから17位となっています。

石巻市の民力（平成18年）

		指　数	順　位
基本指数		722 (9,610)	2 (28)
産業活動指数		797 (9,874)	2 (17)
	農業・漁業指数	1,848 (10,693)	1 (2)
	製造業・建設業指数	902 (10,084)	2 (17)
	商業・サービス業指数	683 (9,982)	2 (20)

注1）（　）内は増加指数。順位は36市町村中。
2）基本指数は人口や市町村内総生産など5指標、産業活動指数は農業産出額や製造品出荷額等、卸売・小売業販売額など15指標を合成し作成。基本指数、産業活動指数は市町村合計=10,000とした万分比、増加指数は平成13年対平成18年の増加倍率（市町村平均=10,000）。

資料：当行「平成18年宮城県内市町村民力」

5．地域資源と温故知新 ～石巻地域ブランドの「金華かつお」～

石巻市は、金華山周辺海域の好漁場を控え、豊かな漁業資源に恵まれた全国屈指の水産都市として知られています。

石巻市の水産業は、生カツオやマイワシ等の水揚量(平成17年)が全国2位となっているほか、冷凍カツオ(同3位)やサバ類(同4位)等も上位にランクされ、総水揚量(約18万㌧)では全国3位を誇るなど、リーディング産業として地域の経済を支えてきました。しかし、近年、水産業を取り巻く環境は、漁獲規制や魚離れに伴う需要減退などから厳しさを増しています。

こうした中、石巻魚市場などは、漁業資源の付加価値向上と水産業の活性化を目指して、主要魚種のブランド化事業に取り組んでいます。金華山沖で漁獲され、石巻魚市場に水揚げされた生鮮カツオは、漁法や魚体重、品質等厳格なブランド基準により選別された後、上級品の証となるブランド認証シールが貼られ「金華かつお」としてブランド化されます。このカツオは、先にブランド化された「金華さば」や「金華ぎん(養殖銀サケ)」に続く新たな地域ブランドとして、石巻市の知名度アップ等水産関係者の様々な期待を背に県内外に向けて出荷・販売されています。

一方、石巻フード見本市実行委員会などは、フード見本市や物産展などを通して、鮮魚や水産加工品等地場産品の魅力を全国に発信し、販路の開拓や拡大に取り組んでいます。「第6回(平成19年)石巻フード見本市」では、市内の業者(25社)が地域ブランド品等水産関連商品を中心に自慢の商品を展示する一方、全国各地から百貨店や水産関連バイヤーなど500社、900人が訪れ、石巻地域の優れた食材をめぐり熱のこもった商談で盛り上がりました。

石巻市では、これらの水産資源に加えて、伝統を今に伝える鯨文化や雄勝硯、マンガランドなどの新たな観光資源等々、市町村合併に伴い厚みを増した地域資源について、今後、「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」などを通して積極的にアピールすることとしており、地域振興の底上げが期待されます。

石巻魚市場に水揚げされた生鮮カツオ

ブランド認証シールが貼られた「金華かつお」

石巻フード見本市の商談風景